

3月AMCアンケート「長期滞在に関するアンケート」集計と分析

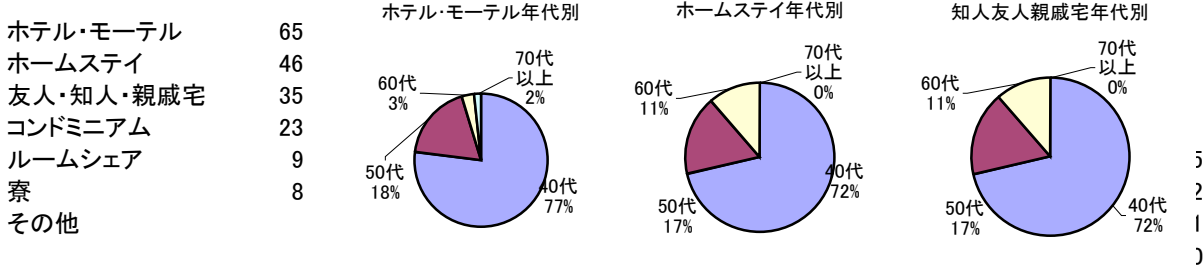
総応募数 912名(女性 392名 男性514名 不明 6名)

年代別	40代	637
	50代	215
	60代	50
	70代	5
	80代	2
	90代	2

Q1. 仕事以外に海外での長期滞在(2週間以上の滞在)の経験はありますか？

ある	163	「ある」と答えた方の年代別回答数・回答率	
ない	752	40代	119 18.7%
無回答	9	50代	34 15.8%
		60代	7 14.0%
		70代以上	2 22.2%

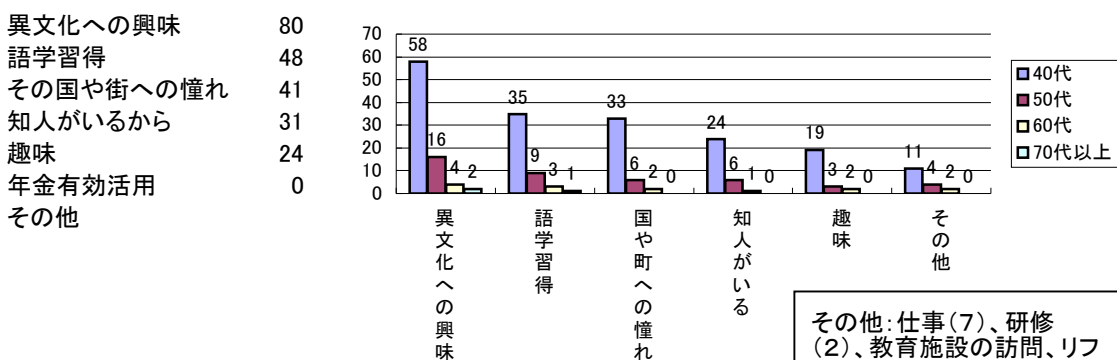
Q2. どういう形態での滞在でしたか？(複数回答可)



その他内訳: 貸しアパート(4)、ゲストハウス、マンション、一軒や、家借、研修、山歩き、車中、駐在、登山、彼女宅、夫の仕事で、娘宅、留学、料理も自分のできるホテル

コンドミニアムは60代以上で回答がゼロ。まだ、新しい宿泊形態だからかもしれない。高級コンドミニアムでのロングステイは今の60代よりも、これから60代に向かう人たちに受ける商品かもしれない。ホームステイ・寮は50代、60代でも回答がわりとある。異文化への興味が高い人・語学習得のためにはホームステイか寮、という意識があるからかもしれない。

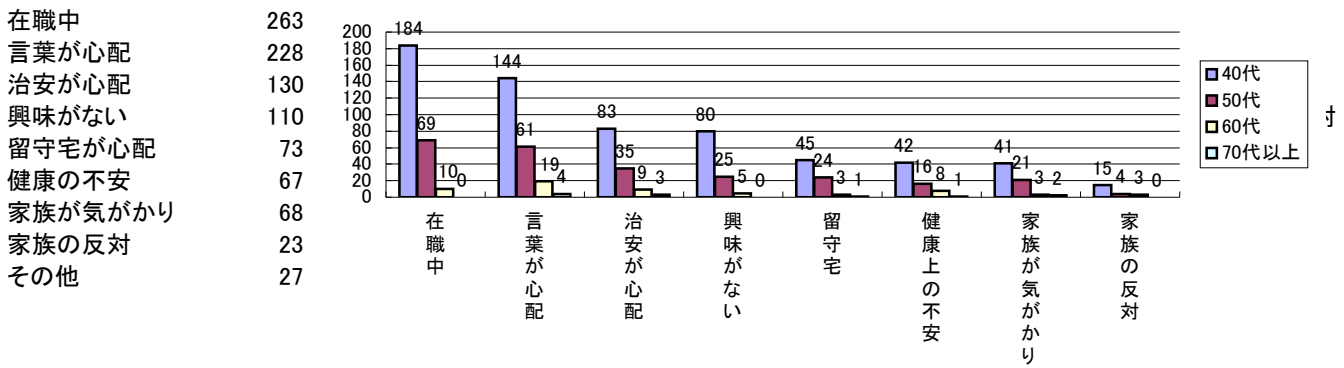
3. 長期滞在をしたいと思った動機はなんですか？(複数回答可)



その他: 仕事(7)、研修(2)、教育施設の訪問、リフレッシュ、留学(3 音大、建築の勉強、大学院)観光、結婚、登山

3月AMCアンケート「長期滞在に関するアンケート」集計と分析

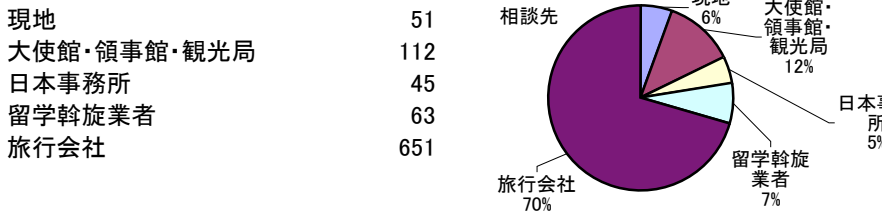
4. 長期滞在をしたことがない理由はなんですか？（複数回答可）



その他: 金銭的な問題(17 男性3女性14)、機会がなかった(4 男性3女性1)、必要がない(2 40代男性)、10日くらいの滞在はあったが2週間はない(40代男性)、いつも1週間くらいなので(40代女性)、行きたくても自分でどうにかなるものではないから(40代男性)、食べ物があわない(40代男性)、日本食がないと生きていけない(40代女性)

長期滞在の3大不安要素と言われる、言葉・治安・健康面のうち、圧倒的に言葉の心配が多い。まずなによりも言葉の不安を取り除くことが、長期滞在に踏み出す一番のポイントであることがわかる。

5. もしこれから海外長期滞在をするとしたら、どこにまず相談しますか？



どの年代でも圧倒的に多かったのは旅行会社。一番身近な存在であることが大きいのではないかとと思われる。60代、70代で「現地」と答えた人は皆無。また、40代50代では、留学斡旋業者をあげた人の数が日本事務所と答えた人より多いが、60代だけは日本事務所のほうが留学斡旋業者よりも多い。

6. 業者を選ぶときに重視するポイントは何ですか？（3つ選ぶ）

